

# 研究だより

校内研究便り ②  
令和2年6月15日  
研究推進部

先日の研究全体会ではありがとうございました。リモートによる研修という新しい形でしたが、いかがでしたか。みなさんのアンケートの回答によって、思っていたよりもやり辛さを感じない研修だったということが分かりました。コロナウイルスの感染状況にもよりますが、今回の研修で学んだ「シンキング・サイクル」についてはもちろんのこと、「リモートによる研修の仕方」を今後の教育活動に生かしていけるようにみなさんで工夫していきましょう。

\*Teams で既にご案内している Google Classroom に研修で使用されていたパワーポイントの資料があります\*

## FORMSによるアンケートの回答より

どこから参加しましたか

学校	12
自宅	3

本校の研究テーマである「シンキング・サイクル」について

よく分かった	9
まあまあ分かった	6
あまり分からなかった	0
全く分からなかった	0

ZOOM を使った研修について

やり辛さを感じなかった	15
やり辛さを感じた	0

やり辛さを感じなかった理由について（一部抜粋・編集）

### 研修資料について

- 資料の共有機能を使えば、ペーパーレスで研修を受けることもできると分かった。
- 資料を画面共有していただいたおかげで、不自由なく取り組むことができた。
- △資料提示の画面が長くなると、講師の先生の顔がしばらく見えないので、伝わりにくい面はある。
- △やり辛さはさほど感じなかったが、やはり事前に資料をコピーしておくとう便利だと思った。
- △初めて聞く内容だといろいろ書き込んでいかないと分からないこともあるだろうと思う。

### 音声について

- 音声も聞き取りやすかった。
- イヤホンを使ったので集中して話を聞くことができた。
- いつもスクリーンに映し出した資料を見ているよりも、手元でみられたことでわかりやすかった。

○映像の乱れや音声の途切れもなかったので、思っていたよりもやりやすかった。  
△途中何回かハウリングが起きていたので、近くで参加する方は意識しておいたほうが良い。

#### その他

○こちら側の声がミュートされているという環境下で、わからない単語やポイントを一緒に研修を受けていた同学年の主任から教えていただくことができた。対面での研修では、わからないこともその場では聞けず、結局曖昧になってしまうことがあるため、オンラインでの研修は快適だった。

○自宅でも特に問題はなかった。

△講師だけでなく、受講者の表情がわかったほうが安心できる気がする。

△職員室にいると電話・来客対応が発生してしまうため、事務の方や SSS の方の出勤も調整できると良い。

△今回の研修は主に聞く側だったのであまり不自由を感じなかったが、今後意見を出し合うような研修では工夫が必要かと思う。

△質問しづらいなどは感じた。同じような形での研修が今後あるのなら、事前に質問を募っておいて、原先生に代表で言っていたいただいてもよいかと思った。

△画面が小さいので、1時間くらいが限界だと感じた。

△講師の先生の見られている画面がわからないので、少し不安な感じはした。

△予想より、見られている緊張感があった。

#### 本日の研修について、お気付きになったことや御意見など（一部抜粋・編集）

- ・おもしろい取組だった。多少のやり辛さや改善点はあったと思うが、受講する側にも慣れが必要で、慣れてくれば、Zoom だからこそのよさも出てくるだろう。この方式一択ではないと思うが、研修方法の選択肢が一つ増えたと考えればよいと思う。また、この経験が近い将来のオンライン授業への礎となるだろうと思う。
- ・1時間という短い時間で効率良く学ぶことができる研修だった。After コロナにおいても、うまく活用できると良い。
- ・カメラが向いていると緊張する。
- ・シンキング・サイクルの中のどの部分を指導しているのかということ、自分自身も持っておくことが大切だと感じた。
- ・何度か高橋先生のお話を聞かせていただいているが、その時その時で納得したり考えが繋がったりする。これが点と点をつなぐ線を太くしていくことか実感した。
- ・先生の話を書くという意味では全く不便を感じなかった。みんなの声（意見）が出し合えるようになるとベターである。
- ・資料が大きく画面上で見られたので、わかりやすかった。
- ・難しい内容をわかりやすく説明していただき、研究に対する見通しが見えた。
- ・スライドを見ている時は他の人の顔は見えなかったので、少しだけ寂しかった。
- ・会場の準備の手間など考えると、こういった研修が増えていくのも悪くないと感じた。